作成日：2026 年 9 月 28 日（第 2 版）

QST病院で中間リスク前立腺がんに対して重粒子線治療を受けた皆様へ

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

量子科学技術研究開発機構QST病院と東邦大学医療センター佐倉病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

［研究課題名］　中間リスク前立腺癌における重粒子線治療の効果と安全性を確認する後向き研究

［研究実施期間］　各研究機関の長による許可日～2030年03月31日

［研究代表機関及びその長の氏名］　国立研究開発法人　量子科学技術研究開発機構　QST病院
（QST病院長：石川　仁）

［研究代表者］　量子科学技術研究開発機構　QST病院　石川　仁

［共同研究機関及び研究責任者］　東邦大学医療センター佐倉病院
（研究責任者：泌尿器科　鈴木　啓悦）

［研究の目的］　この研究の目的は、QST病院において前立腺癌に対する重粒子線治療受けられた方の重粒子線治療の効果や安全性について調査することです。

［研究の方法］

●対象となる患者さん

<u>中間リスク前立腺がん</u>の患者さんで、<u>2000年1月から2024年3月までに重粒子線治療のためにQST病院に入院及び通院された方</u>

●利用するカルテ情報

2029年12月までに得られた診療記録。

<u>電子カルテに保存された診療記録を情報取扱いの安全管理された電子システムにより</u>集計しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

●共同研究機関への提供方法

共同研究機関でもデータ解析を行うため、パスワードをかけた電子媒体（USBメモリ、DVD-R等）に保存し、研究者が直接搬送します。

●利用する者の範囲

量子科学技術研究開発機構の倫理審査委員会にて研究者として審査、承認を受けた者が利用します。また、データの統計解析を外部業者に委託する可能性がありますが、その場合には契約に基づき適切な監督を行います。

［個人情報の取り扱い］

<u>お名前や個人情報がでることは、一切ありません。</u>

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究

成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（個人情報保護法や研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います）

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方、またはそのご家族など代理の方は、2027年12月31日までに下記窓口にお申し出ください。（この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなることがあります。）この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]
千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
QST病院　岡東　篤
電話；043-206-3306
平日；8：30 ～ 17：00

